

- 1 教育事業名 ボランティア自主企画事業「とかしきわくわくキャンプ」
～とかしっきーケラ丸くんとみんなで作ろう大作戦～
- 2 ね ら い ボランティアがこれまで培った知識・技能・経験を活かし、自然体験活動における実践的な取り組みをとおしてボランティアとしての意識の向上を図るとともに、新規ボランティアにはこれからの活動にむけた教育的視点づくりを行う。また、子供たちが自然体験活動の魅力を感じ、異年齢の交流をとおしてコミュニケーション能力や協調性を身につける機会とする。
- 3 期 日 平成26年8月30日(土)～31日(日) 1泊2日 【テント宿泊】
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 5 募集定員 30名程度
- 6 参加人数 29名
- 7 参加者内訳 小学生5・6年生 29名
(男性18名、女性11名)(県内29名)
- 8 講 師 なし
- 9 実施プログラム ボランティアの企画・運営によるプログラム

1	9:30	10:00	11:30	12:00	13:30	15:30	16:30	19:30	21:00	22:00
日	乗船	出港	受付 オープニング	おにぎり作り 昼食	マリン活動	テント 設営	創作野外炊事・夕食	キャンプ ファイヤー	シャ ワー	就 寝
2	6:30	7:30	8:30	10:00	13:00	14:40	15:10	16:00	17:20	
日	朝の 準備	サンドウィッチ 作り・朝食	テント 撤収	レ ク 流しそうめん	クラフト作り	インディガ	移動	出港	解 散	

10 事業の様子

【1日目】



渡嘉敷島に到着



オープニング



おにぎり作り



マリン活動



創作野外炊事



キャンプファイヤー

【2日目】



海洋レクリエーション



流しそうめん



11 エピソード（ボランティア・参加者の声、アンケートより）

【ボランティアの声】

- ・ 子どもと接することの楽しさ大変さ、初対面の時とは全く違った表情を見せてくれた時の嬉しさを体感した。
- ・ 自分自身を振り返る事業になった。でも何よりボランティアで参加してくれた皆がとても素晴らしく助けられた。
- ・ 運営の難しさを知った。時間の使い方や満足度を考えると、話し合いの足りなさから時間を有効的に使えなかった事が反省である。

【参加者の声】

- ・ みんなと協力する。頑張っていてやっけておもしろかった。
- ・ 協力し合ったり、助け合ったりして、その壁を越えなければならないことがわかった。
- ・ スノーケリングなどができた。泳げるようになった。

12 担当者所見

本事業は、小学生対象の自然体験活動事業の企画・運営をとおして、ボランティアがこれまで学び経験したことを実践に活かす機会として、また教育的視点づくりを目的として実施した。事後会議にてボランティアから、「事業企画に係る会議や準備の足りなさ、運営における子供達の指導や安全管理の大変さを実感したが、子供達と一緒にプログラムを楽しみ、彼らの笑顔を見ることで達成感や充実感があつた」との声があり、青少年教育施設のボランティアとして必要な教育観をもつことに繋がった。

また、ボランティアが考えた「みんなで作ろう」というテーマに相応しく、おにぎりや創作料理作り、流しそうめんなどの食にこだわったプログラムが多くあり、子供たちは「食べる」という基本的な生活の一部を仲間と協力して形にする中で、コミュニケーション能力や協調性を身につけることができたと考える。

いきいきした笑顔から、ボランティア、子供たち共々、目標を持って体験活動にチャレンジすることで、自分の可能性に気づき、『新しい自分』を発見できた様子が伝わってきた。

今後は、ボランティアの「体験させたい思い」と子供達の体力やペースなど現状とのバランスをとり、よりよいプログラムを創っていけるよう助言していきたい。